

令和2年6月10日

所 信 表 明 書

| | | | |
|----------|-----------------------------|-------------------|----------|
| 候補者の職・氏名 | 現職：九州大学 教授（主幹教授）、副学長、高等研究院長 | ふりがな 氏名：佐々木 裕之 | ささき ひろゆき |
|----------|-----------------------------|-------------------|----------|



(所信)

九州大学は1911年の開学以来、基幹総合大学として幾多の優れた業績を上げ、有為な人材を輩出してきました。開学百周年には、基本理念「自律的に改革を続け、教育の質を国際的に保証するとともに、常に未来の課題に挑戦する活力に満ちた最高水準の研究教育拠点となる」を定め、指定国立大学法人構想では、九州大学ビジョン2030「アジアから未来を共創する世界屈指の大学」を掲げました。

次期総長には、本学の立地や強みを生かし、教職員の力を結集して、九州大学のビジョンを実現する強靭なリーダーシップが期待されます。また、限られた資源を上手く活用し、災害やパンデミックにも素早く適切に対応する資質が求められます。

私はこれまで九州大学と大学共同利用機関法人で研究教育に携わり、一研究者として新しい分野を開拓するとともに、国内の学協会や国際学術集会・コンソーシアムの理事、委員、顧問などを務めてきました。文科省や諸官庁法人においては、国際動向調査、若手人材育成、研究開発戦略目標の策定などに携わりました。また生体防御医学研究所長として新センター設置や他大学とのネットワーク形成を実現し、副学長として成果指標の見える化、最先端研究設備の導入と共に化、研究費獲得支援、産官学連携の推進を行いました。私はこれまでの実績と経験を生かして九州大学の発展に尽くす所存です。

【研究力の再強化と世界をリードする教育の展開】

私が思い描く九州大学の将来ビジョンは「アジア最高水準の研究教育拠点」の実現であり、指定国立大学法人構想に記載されている目標と一致します。その実現のため、最先端設備や電子ジャーナルなどの研究環境を充実させ、十分な基盤研究費と研究のための時間を確保し、デジタル技術を駆使することで優秀な研究者が集う環境を整えます。自由な発想に基づく基礎研究や歴史と社会に対する深い洞察は人類の貴重な財産であり、長期的視野に立ち文系・理系全ての領域を育み深化させることが基幹総合大学の務めだと思います。学内で資源を奪い合うのではなく、一致協力して外から研究資金を獲得することを強力に支援します。教員と学生の力を引き出すため、分野ごとに適切な評価指標を定めます。

研究と教育は一体です。基幹教育や共創学部など特色ある教育を定着・発展させ、学生の主体的な活動をサポートし、文理融合の学理と課題解決力を習得したポストコロナ時代のSDGsやSociety 5.0に貢献する人材を育てます。ラーニングアナリティクスを拡充し、世界をリードする本学発の教学マネジメントのシステムを作ります。合理的配慮のもとに多様な学生を受け入れ、教員・学生・社会の声に耳を傾け、国際基準の教育の質を保証するために不断の改善を行います。

【国際化とダイバーシティの推進】

日本の大学の持続的な発展の鍵は国際化とダイバーシティです。多様な国籍、年齢、性、思考をもつ教員や学生の化学反応がイノベーションを生み出します。ルネッサンスプロジェクトを加速し、高等研究院に若手ポストを新設するとともに、テレワークを実践し、積極的に女性と外国人を上位職種・執行部へ登用します。これまで副学長として推進してきた外国人教員のネットワーク作りや研究費獲得支援を強化し、事務職員を含めて二言語化を進め、外国人教員と日本人教員との協働を推進します。国際化とダイバーシティの推進により、優秀な学生・留学生を獲得します。

【対話に基づくリーダーシップとガバナンス】

各部局や事務部と継続的に対話し、研究・教育・診療の現場に立脚した大学経営を行います。多くの学内組織と会議を抱える縦割りの弊害を改め、執行部の若返りを図り、総長が強靭なリーダーシップを発揮できるコンパクトな体制を目指します。シェアドガバナンスの考えを重視し、状況に応じて総長のビジョンの実現を補佐するプロボストの配置を検討します。総長メッセージなどを活用して執行部の方針を学内へ迅速に周知し、九州大学の特色や研究成果を効果的に発信する国際的な広報体制を実現します。

【社会との共創と財政基盤】

産官学共創による共同研究や社会実装を推進するとともに、スタートアップ都市福岡と連携して、九大発の起業を力強くサポートします。国内屈指の診療実績を持つ九大病院を中心として、ポストコロナ社会の医療保健分野の多様な研究開発を進めます。要件が緩和される予定の学外会社への出資を活用するなど、さらなる共同研究の呼び込みに努めます。未来型実証キャンパスの伊都地区、先進医療・創薬の病院地区、デザインの大橋地区、先端技術の筑紫地区それぞれが、特色ある産官学共創拠点となるよう支援します。競争的資金、共同研究費に加えて、同窓会などを通した寄付金集めを拡充し、国や自治体と協議の上、箱崎跡地の売却を進めます。

【透明性が高く働きがいのある職場へ】

執行部、事務部、各部局の不必要または非効率と思われる手続き、出版物、会議、制度、組織など旧弊の断捨離を実行し、オンライン化を進めましょう。本来の業務に専念できる余裕を生み出し、パフォーマンスを向上させましょう。そうすれば、男女共同参画が容易になり、組織や制度の透明性も増し、働きがいのある職場になるのではないでしょうか。

私は山登りをしますが、そのリーダーは天候やメンバーの体調を見極め、時には計画やアプローチを見直して、無事な登頂と帰還を完遂する責任を有します。教職員や学生と共有するビジョンと指定国立大学法人構想を実現するため、必要に応じてストラテジーと指標を見直し、社会に貢献する国際的な研究教育拠点をつくります。

(注1) 所信は、九州大学の将来構想、教育・研究・社会貢献・国際貢献、大学運営等に関し、2,000字程度で記載してください。

(注2) この所信表明書は、本学のホームページの学内限定サイトで公開されます。なお、最終選考において総長候補者となった場合は、学内外に公表されます。